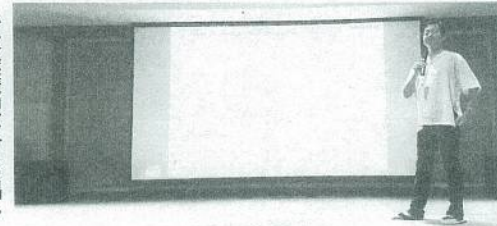


100人超が参加した合同式典



マークテック海外子会社 合同式典を開催

新事業構想を打ち出した西本社長



中国・創立10周年の記念旅行 タイと合同、記念式典で祝う

マークテック(西本圭吾社長)のグループ子会社であるマークテック上海探傷設備とマークテックアジアの合同記念式典(中国・創立10周年記念旅行、タイ・親睦旅行)が9月16日、タイ・パタヤのサイアム・ベイショア・ホテルなどで開催された。

合同式典には、西本社

長をはじめマークテック上海探傷設備、マークテックアジア、インドネシア・ジャカルタ駐在員事務所など関係者約100人が参加した。

式典に先立って市川大介マークテックアジア社長が開会挨拶を行ったのち、西本社長は、同社グループ全体の活動状況を報告。とりわけ、新事業

構想(技術承継事業)の概要にふれるとともに、その一環として実施した本田工業の子会社化について説明した。

また、佐野嘉高マークテック上海探傷設備総経理、河村知己ジャカルタ駐在員事務所所長、市川社長はそれぞれの概況に關して報告した。

マークテックアジアでは、カンパニースローガンを社内公募。この結果、「考え続ける、改善し続ける、開発し続ける」が採用された。